鳥取と消防



全国各地から駆け付ける「緊急消防援助隊」と、空から消防活動を行う「鳥取県消防防災航空隊」を紹介します。また、鳥取県東部で過去に起こった大きな災害を確認しましょう。

鳥取県緊急消防援助隊



地震や洪水などの自然災害や大規模災害が発生した場合、緊急消防援助隊が出動します。

また、鳥取県が被災地になった場合は、全国から消防隊や航空隊が応援に駆けつけてくれます。



東部消防局が出動した災害 出動期間・人数	東日本大震災 H23.3.12～3.18　計69名	熊本地震 H28.4.16～4.21　計44名	平成30年7月豪雨 H30.7.12～7.24　計107名	令和6年能登半島地震 R6.1.8～R6.1.19　計101名


拠点機能形成車
車の中にトイレやベッドがあり、長期間活動ができます。


支援車
隊員を乗せて被災地に向かいます。


燃料補給車
燃料を積んで消防車両に給油します。


資器材搬送車
隊員の水や食料、テントなどを積み込みます。


無人航空機（ドローン）
ドローンで上空から調査します。

鳥取県消防防災航空隊

AIR RESCUE TEAM JA31TA TOTTORI

鳥取県消防防災航空隊は、林野火災など地上から近づくことが難しい火災現場の上空から消火活動を行ったり、山や海などで発生した救助現場で救出活動を行います。また、救急車では病院に搬送するのに長時間かかる場合は、傷病者をヘリコプターに乗せて救急搬送を行います。




消防防災ヘリコプター「だいせん」
鳥取空港に隣接する「鳥取県消防防災航空センター」の格納庫に常駐しています。


空港の飛行機とツーショット
冬の「大山」の白、鳥取砂丘の「風紋」をイメージしてデザインされているぞ


山の中で発生した救助現場。ヘリコプターから航空隊員が降りてきます。


上空から要救助者の位置を確認します。



航空隊ワッペン

岩井大火


（鳥取県立公文書館所蔵）
岩井地区が一面焼け野原になりました。



（鳥取県立図書館所蔵資料）
翌日の新聞記事で被害の大きさが伝わります。（鳥取新報の記事）

昭和９年６月６日午後４時４０分ごろ、温泉で有名な岩美町岩井で発生した火災は、建ちならぶ温泉旅館や民家に次々と燃え広がり、全焼建物３３９棟、半焼１９棟と岩井地区全体を焼きつくす大火となりました。

岩井地区では毎年、大火が二度と起こらないよう火の用心の思いを込めて防火パレードを行っています。

防火パレードのようす



「火の用心」の掛け声のもと、火災予防を呼びかけます。

鳥取東部の大災害

鳥取大地震

昭和１８年９月１０日午後５時３６分５７秒、鳥取市を震源とするマグニチュード７．２、震度６の直下型地震が発生しました。

この地震による死者は１，２１０名、負傷者３，８６０名、住居の倒壊率も全半壊あわせて８５％を超えました。地震発生の数分後には火災が発生、２日後の１２日午前５時に鎮火しましたが、鳥取市街地の建物は壊滅的な被害を受けました。また発災当時、日本は戦争中であり災害復興まで困難な状況でした。


（鳥取県立公文書館所蔵）
地震で倒壊した家屋がたくさんあります。


（鳥取県立公文書館所蔵）
屋根に上って救援活動。奥の山は久松山です。

鳥取市では鳥取大地震があった9月10日を「鳥取市防災の日」と定めているぞ

鳥取大火


（鳥取県立公文書館所蔵）
火災発生のようす、鳥取市街地が炎上しています。


（鳥取県立公文書館所蔵）
鳥取市街地の焼失状況

鳥取大火延焼図



（鳥取県立公文書館作成）

昭和２７年４月１７日午後２時５５分ごろ、鳥取駅前付近で出火。フェーン現象による強風のため、またたく間に燃え広がり、約１２時間燃え続けて鳥取市街地の３分の２を焼き尽くしました。

この大火による被害は、死者２名、負傷者３，９６６名、り災者２万４千名、焼失建物は家屋５，２２８戸、家屋以外の公共施設など５１０棟、被害総額１９３億（推定）を超える戦後では国内最大級の火災となりました。

鳥取大火で2つの小学校が焼失、児童は火事にあわなかった近くの小学校で5月1日に授業を再開したぞ

メモ

おしえて！消防用語

ドクヘリ
ドクターヘリの略。医療活動ができるヘリコプターで、救急専門の医師と看護師が乗って救急現場に飛んできて救命治療を行います。ドクヘリは「空飛ぶ病院」です。

CPA
心肺停止の意味（Cardio Pulmonary arrest）。心臓も呼吸も止まった状態で急いで救命処置が行われます。

消防クイズQ&A

Q. 家族が運転する車に、サイレンを鳴らした消防車や救急車が近づいてきました。どうすればよいでしょうか？

①そのまま走り続ける　②スピードを上げて引き離す　③ゆっくり左側によって道をゆずる